

# 日立市に住んだらよっかっぺ！！

日立市立多賀中学校  
1年小川ゆめ

## 動機

私は夏休みに近所の川に遊びに行きました。川の上流に歩いて行くと、誰かのくつや大きな木、どこかの家のタイルが落ちていました。それを見た両親が水害があったのかと話しているのを聞いて、私は水害って怖いと思うと同時に、自分の住んでいる地域に水害が起きる可能性があるのか、水害などの災害発生時にどう行動したらよいか、自分で詳しく調べてみようと思いました。

## 災害って何？

市役所に勤めている防災対策課 朝日健二郎さんに伺ったところ、災害とは災害対策基本法第二条より、

「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、土石流、地滑り、崖崩れ、竜巻その他の異常な自然現象又は大規模な火事、若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害をいう」と定められていると仰っていました。

その中でも日立市に起こりやすい災害は「豪雨、洪水、崖崩れ、土石流、地震、津波」の6つとなっているそうです。



## 避難指示

令和3年5月20日から避難勧告は廃止になりました。  
警戒レベル3（高齢者等避難）…高齢者や障害者は危険なところから避難、健康な人は避難準備  
警戒レベル4（避難指示）…危険な場所から全員避難  
警戒レベル5（緊急安全確保）…既に災害が発生し安全な避難ができず命の危険がある状況  
※ 市町村が必ず発令される情報ではない

この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。



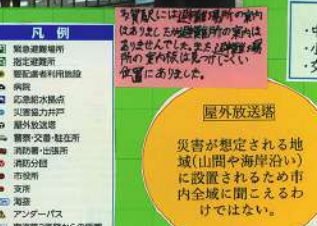
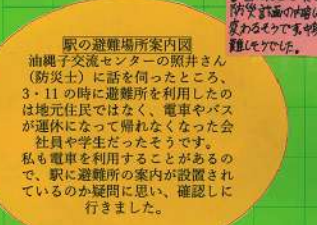
## 避難所・避難場所

避難所…建物の損傷やライフラインの途絶など生活ができなくなった際に移動して一時的に生活する場所。基本的には小学校→中学校→その他の順番で開設される。

避難場所…建物の火災や倒壊、浸水や津波などから生命を守るために緊急避難をする場所 ex)公園・緑地・グラウンド

## 避難所開設の基準

- ① 震度5強以上になると避難所が開設される。
  - ② 警戒レベル3になると避難所が開設される。
- ※災害の種類や状況によって避難所の開設順が変わることがある  
※総合的に判断し早めに開設されることもある



**海・河川氾濫監視**  
津波や河川の水位の監視を行い災害をいち早く把握するためのシステム

**アラート**  
アラートは気象庁から市役所の端末に受信後、市内の携帯電話に自動的に緊急情報を発信するシステム。

**防災行政無線**  
マイクで直接市民に声を届けるシステム。日立市防災対策課の方が放送する。

**防災備蓄倉庫**  
倉庫の中には想定避難者数×3日分が備蓄されていました。これはハザード地域内の住民や帰宅困難者を想定した数だそうです。基本的な考え方は在宅避難なので、各家庭での備えが大切です。

**駅避難所案内図**  
油桐子交流センターの照井さん(防災士)に話を伺ったところ、3・11の時に避難所を利用したのは地元住民ではなく、電車やバスが運休になって帰れなくなった会社員や学生だったそうです。私も電車を利用することがあるので、駅避難所の案内が確認に行きました。

**避難場所**  
200 100 50  
屋外放送塔

**屋外放送塔**  
災害が想定される地域(山間や海岸沿い)に設置されるため市内全域に聞こえるわけではない。

**避難所・避難場所はハザードエリア外に集中している。**  
日立市には避難所の案内が確認に行きました。

**避難所・避難場所はハザードエリア外に集中している。**  
日立市には避難所の案内が確認に行きました。

**避難指示**  
令和3年5月20日から避難勧告は廃止になりました。

**避難指示**  
警戒レベル3（高齢者等避難）…高齢者や障害者は危険なところから避難、健康な人は避難準備

**避難指示**  
警戒レベル4（避難指示）…危険な場所から全員避難

**避難指示**  
警戒レベル5（緊急安全確保）…既に災害が発生し安全な避難ができず命の危険がある状況

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

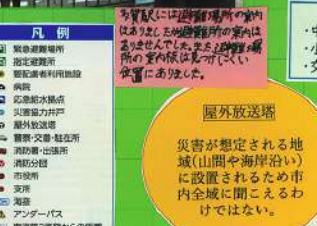
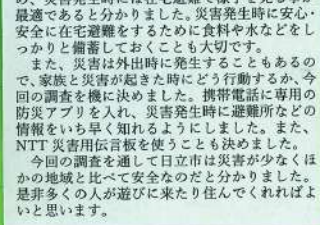
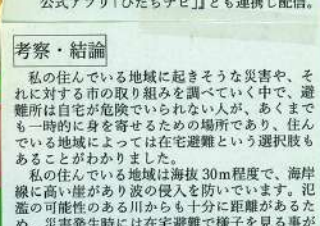
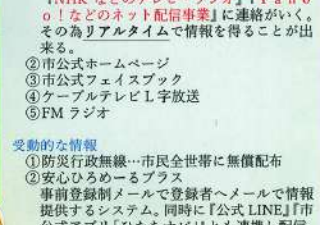
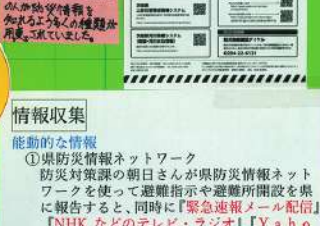
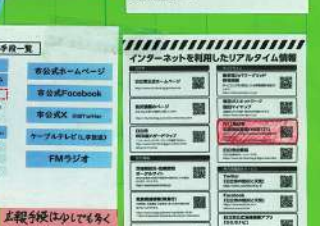
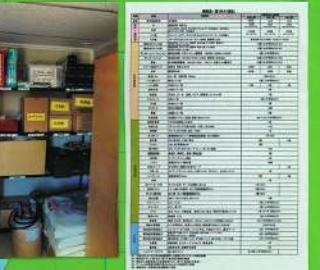
**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難指示**  
この避難指示は日立市民すべての人に該当するのではなく、ハザードエリア内に該当する人が避難しなければならない指示です。

**避難所開設の基準**  
① 震度5強以上になると避難所が開設される。  
② 警戒レベル3になると避難所が開設される。



## 情報収集

- 能動的な情報**
- ① 県防災情報ネットワーク  
防災対策課の朝日さんが県防災情報ネットワークを使って避難指示や避難所開設を県に報告すると、同時に「緊急速報メール配信」「NHKなどのテレビ・ラジオ」「Yahoo!などのネット配信事業」に連絡がいく、その為リアルタイムで情報を得ることが出来る。
  - ② 市公式ホームページ
  - ③ 市公式フェイスブック
  - ④ ケーブルテレビL字放送
  - ⑤ FMラジオ

## 受動的な情報

- ① 防災行政無線…市民全世帯に無償配布
- ② 安心ひらめくプラス  
事前登録制メールで登録者へメールで情報提供するシステム。同時に「公式LINE」「市公式アプリ「ひたろナビ」」とも連携し配信。

## 考察・結論

私の住んでいる地域に起きそうな災害や、それに対する市の取り組みを調べていく中で、避難所は自宅が危険でない人が、あくまでも一時的に身を寄せるための場所であり、住んでいる地域によっては在宅避難という選択肢もあることがわかりました。

私の住んでいる地域は海抜30m程度で、海岸線に近い崖があり崖の侵食を防いでいます。氾濫の可能性のある川からも十分に距離があるため、災害発生時には在宅避難の様子を見ることができると分かりました。災害発生時に安心安全に在宅避難するために食料や水などをしっかりと備蓄しておくことも大切です。

また、災害は外出時に発生することもあるので、家族と災害が起きた時にどう行動するか、今回の調査を機に決めました。携帯電話に専用の防災アプリを入れ、災害発生時に避難所などの情報をいち早く知れるようにしました。また、NTT災害用伝言板を使うことも決めました。

今回の調査を通して日立市は災害が少なくほかの地域と比べて安全なのだと分かりました。是非多くの方が遊びに来たり住んでくれればよいと思います。



**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

**避難所案内図**  
避難所案内図の展示。避難所案内図の展示。

## 情報収集

- 能動的な情報**
- ① 県防災情報ネットワーク  
防災対策課の朝日さんが県防災情報ネットワークを使って避難指示や避難所開設を県に報告すると、同時に「緊急速報メール配信」「NHKなどのテレビ・ラジオ」「Yahoo!などのネット配信事業」に連絡がいく、その為リアルタイムで情報を得ることが出来る。
  - ② 市公式ホームページ
  - ③ 市公式フェイスブック
  - ④ ケーブルテレビL字放送
  - ⑤ FMラジオ

## 受動的な情報

- ① 防災行政無線…市民全世帯に無償配布
- ② 安心ひらめくプラス  
事前登録制メールで登録者へメールで情報提供するシステム。同時に「公式LINE」「市公式アプリ「ひたろナビ」」とも連携し配信。

## 考察・結論

私の住んでいる地域に起きそうな災害や、それに対する市の取り組みを調べていく中で、避難所は自宅が危険でない人が、あくまでも一時的に身を寄せるための場所であり、住んでいる地域によっては在宅避難という選択肢もあることがわかりました。

私の住んでいる地域は海抜30m程度で、海岸線に近い崖があり崖の侵食を防いでいます。氾濫の可能性のある川からも十分に距離があるため、災害発生時には在宅避難の様子を見ることができると分かりました。災害発生時に安心安全に在宅避難するために食料や水などをしっかりと備蓄しておくことも大切です。

また、災害は外出時に発生することもあるので、家族と災害が起きた時にどう行動するか、今回の調査を機に決めました。携帯電話に専用の防災アプリを入れ、災害発生時に避難所などの情報をいち早く知れるようにしました。また、NTT災害用伝言板を使うことも決めました。

今回の調査を通して日立市は災害が少なくほかの地域と比べて安全なのだと分かりました。是非多くの方が遊びに来たり住んでくれればよいと思います。